

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度大分川・大野川河川水位予測システム改良業務
業 務 概 要	計画準備1式、資料収集整理1式、RRIモデルの精度向上検討1式、河川水位予測結果の評価方法検討1式、事務所洪水予測システムの改良1式、水害リスクラインシステム連携機能改良1式、水害リスクラインサーバ保守点検1式、報告書作成1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 谷川 征嗣 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契 約 年 月 日	令和 7年 3月 6日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	36,751,000円(税込み)
予 定 価 格	36,751,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	大分河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7年 3月 7日
履 行 期 間 (至)	令和 8年 3月31日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度大分川・大野川河川水位予測システム改良業務
2. 履行場所 大分河川国道事務所管内
3. 契約の相手方 住所：福岡市中央区大名2-4-12 CTI福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、大分川・大野川でR6年度までに構築した水系一体の河川水位予測モデル（水害リスクライン：次期RRIモデル）の精度向上を目的に、直轄区間及び県管理水位周知区間の予測評価方法の見直し等を行うことにより、既存の大分川・大野川RRI洪水予測プログラムの精度向上を図るものである。

2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、RRIモデルの精度向上検討、河川水位予測結果の評価方法検討、事務所洪水予測システムの改良、水害リスクラインシステム連携機能改良、水害リスクラインサーバ保守点検、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「河川水位予測において精度向上及び、予測評価結果検証を行う上での留意点について」に対する技術提案について与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 流域治水課長